

# 阿武隈川における治水対策の状況

# 1. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が多数発生するとともに、本川下流部では大規模な内水被害が発生するなど、**流域全体で甚大な浸水被害**となった。
- 今後、**関係機関が連携し、ハード整備・ソフト対策が一体となった流域全体における総合的な防災・減災対策**を行うことにより、**浸水被害の軽減、逃げ遅れゼロ、社会経済被害の最小化**を目指す。

## ①河川における治水対策の推進

【ハード整備】約1,840億円

- 観測史上最高水位を更新するほどの大規模な洪水により、本川・支川で越水・溢水、堤防決壊、内水氾濫等が多数発生
- 本川の水位を低下させる対策、支川における堤防強化等の治水対策を推進

＜主なメニュー案＞

- ・国・県管理河川の堤防決壊箇所等、被災した河川管理施設の「災害復旧」の推進
- ・現在 実施中の「堤防整備」等の早期完成
- ・「河道掘削、樹木伐採」等の推進、「河川整備計画」に位置づけられている「河川の水位を低下させる対策」等の順次検討・着手
- ・本川の背水影響が及ぶ支川等の「堤防強化」、「準用河川」の整備促進
- ・内水が顕著な河川等における「排水機能の強化及び耐水化」
- ・既存ダムの洪水調節機能強化



98.6k 左岸堤防決壊箇所(須賀川市)

相互に  
連携

土地利用や避難体制を意識した事業推進  
施設整備計画を踏まえた避難計画等

【ソフト対策】

## ②減災型都市計画の展開

- 沿川都市の都市化の進展により低平地の新興住宅地等での浸水リスクが顕在化
- 沿川地域における住まい方、まちづくりの工夫の推進

＜主なメニュー案＞

- ・浸水リスクを考慮した「立地適正化計画」の展開
- ・支川や内水を考慮した「複合的なハザードマップ」の作成
- ・「特定都市河川」制度に準じた流域対策(例:雨水貯留施設等)
- ・高頻度で浸水する区域の「災害危険区域」等の指定



下水道事業による雨水貯留施設の例(郡山市)

## ③地区単位・町内会単位での防災体制の構築

- 本川や支川の氾濫、内水など、地区毎に異なる氾濫形態が避難行動に影響
- 的確な避難行動に資するきめ細かな情報提供等の推進

＜主なメニュー案＞

- ・支川や内水も考慮した「タイムライン」の整備・改良
- ・浸水想定区域における「町内会版タイムライン」の策定・普及、訓練の実施
- ・危機管理型水位計の活用による「地区ごとの避難体制」の構築
- ・県管理の水位周知河川及び国管理ダム下流等の「洪水浸水想定区域」の早期公表

## ④バックウォーターも考慮した危機管理対策の推進

- 本川上流部では、背水が支川の氾濫にも影響
- 本川合流部周辺における支川の減災対策の推進

＜主なメニュー案＞

- ・本川の背水影響が及ぶ区間への「危機管理型水位計」及び「カメラ」の設置等
- ・本川の背水影響が及ぶ区間に設置した危機管理型水位計と連動した地区ごとの「避難計画」の策定



本川・支川合流部(本宮市)

## ⑤市町村の実情に応じた減災の取り組み

- 地域の特性等を踏まえた各種減災対策の推進

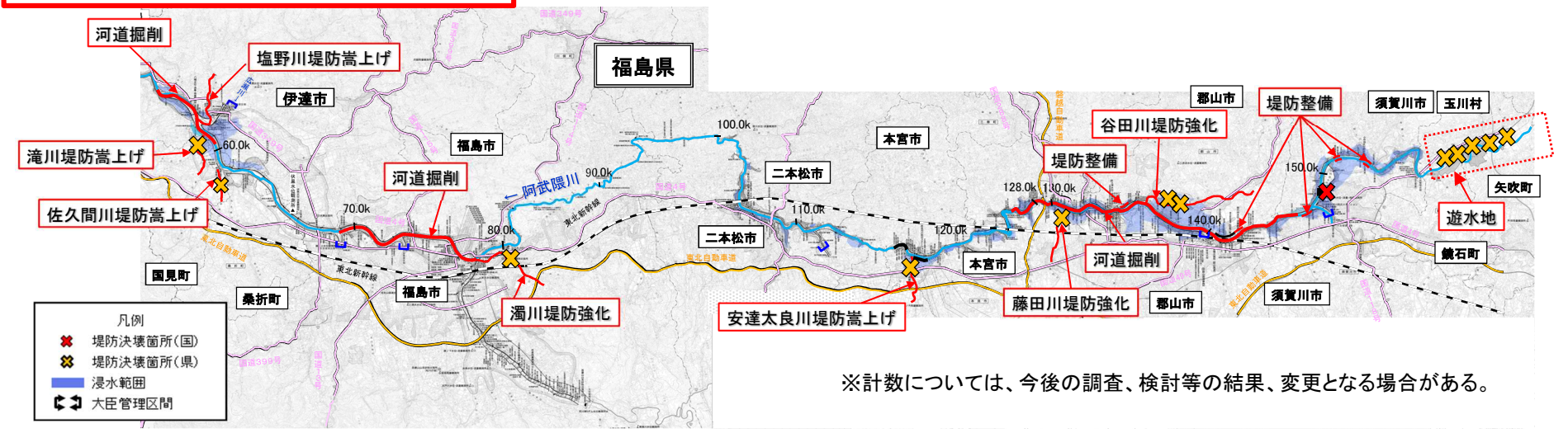
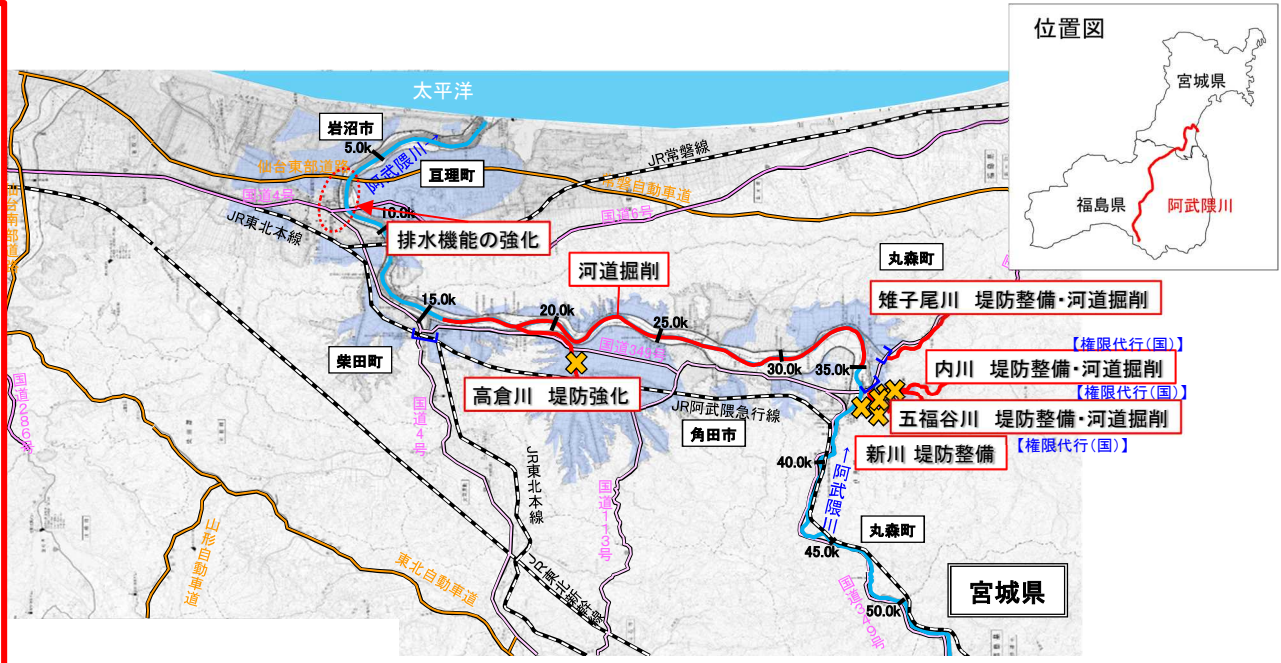
- ・流出抑制・氾濫抑制の取組、住民参加型の防災訓練、マスメディアと連携した情報発信 等

※具体的な対策内容等は、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

# 1. 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」

～本川・支川の抜本的な治水対策と流域対策が一体となった総合的な防災・減災対策～

- 全体事業費 約1,840億円
- 事業種別
- 改良復旧事業
  - 国:阿武隈川上流(福島県内)
    - 全体事業費 約999億円
    - 事業期間 令和元年度～令和10年度
  - 国:阿武隈川下流(宮城県内)
    - 全体事業費 約215億円
    - 事業期間 令和元年度～令和6年度
  - 福島県: 約66億円
  - 宮城県: 約18億円
- 災害復旧事業
  - 国:阿武隈川上流(福島県内)
    - 全体事業費 約130億円
    - 事業期間 令和元年度～令和2年度
  - 国:阿武隈川下流(宮城県内)
    - 全体事業費 約99億円
    - 事業期間 令和元年度～令和2年度
  - 福島県: 約268億円
  - 宮城県: 約44億円



※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

## 2. 阿武隈川上流における治水対策の状況【概要】

- 令和元年東日本台風では阿武隈川流域において、既往最大の洪水により堤防が決壊するなど各地で甚大な被害が発生したことから、国、県、沿川市町村により「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」を策定し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

### 阿武隈川上流本川等の主要事業(国)

- 災害復旧事業

被災した80箇所(荒川などの支川含む)の施設の復旧が完了(令和4年9月)。

- 河道掘削事業(全川)

全体計画約220万 $m^3$ のうち、これまで約160万 $m^3$ (約7割)の掘削を完了。(令和5年9月末時点)。今年度末までに約170万 $m^3$ (約8割)の掘削を目指す。

- 遊水地整備(鏡石町、矢吹町、玉川村)

沿川3町村の地権者の皆様のご協力を得て、用地協議、代替地整備、埋蔵文化財調査等を実施中。

- 橋梁架替(須賀川市)

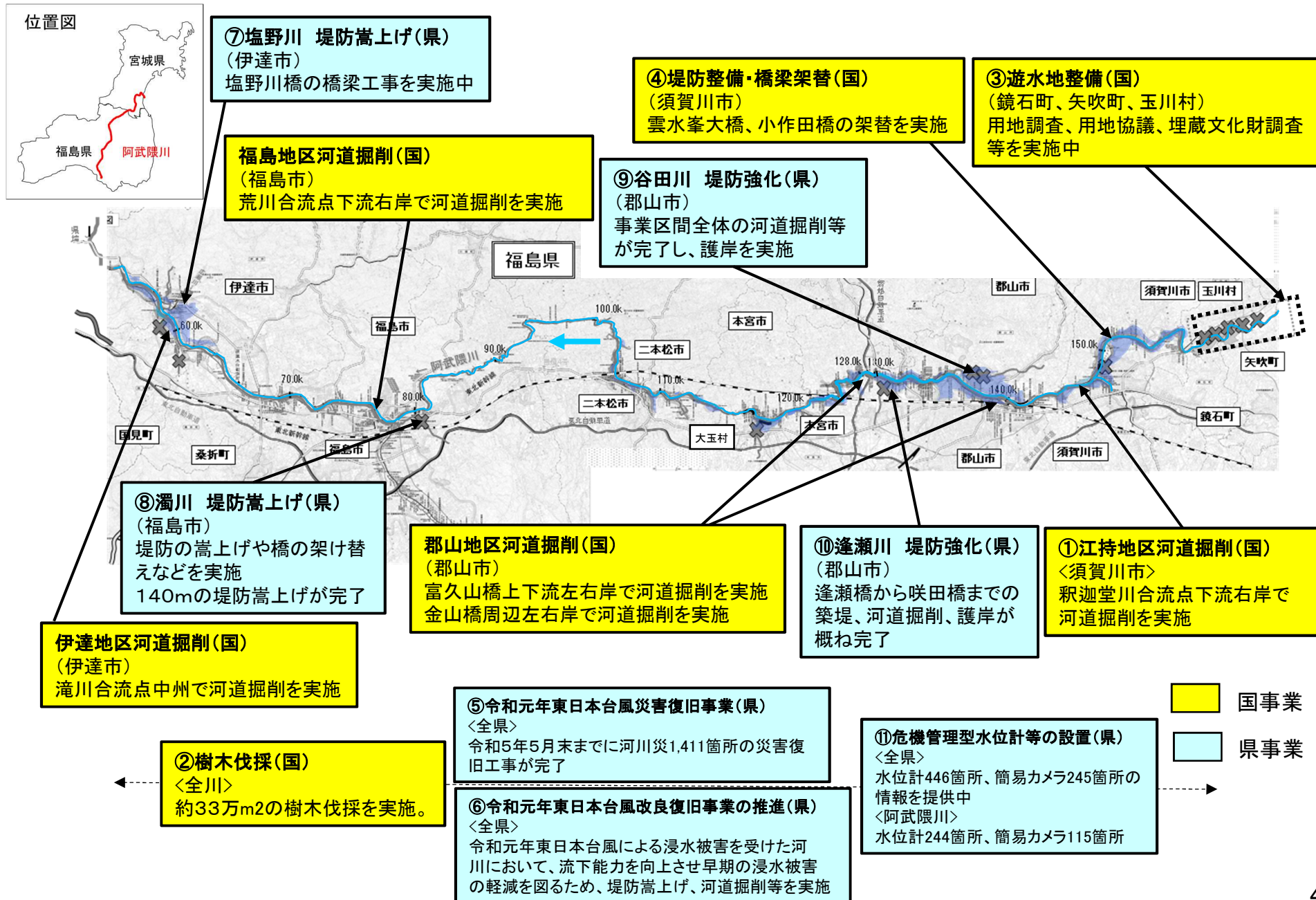
雲水峯大橋、小作田橋の2橋について、堤防整備と橋梁架替を実施中。

### 阿武隈川支川の主要事業(県)

- 塩野川(伊達市)、安達太良川(本宮)等については、流下能力の向上とバックウォーター対策のため、堤防嵩上げ、河道掘削等を実施中。



### 3. 緊急治水対策プロジェクト 主要事業箇所



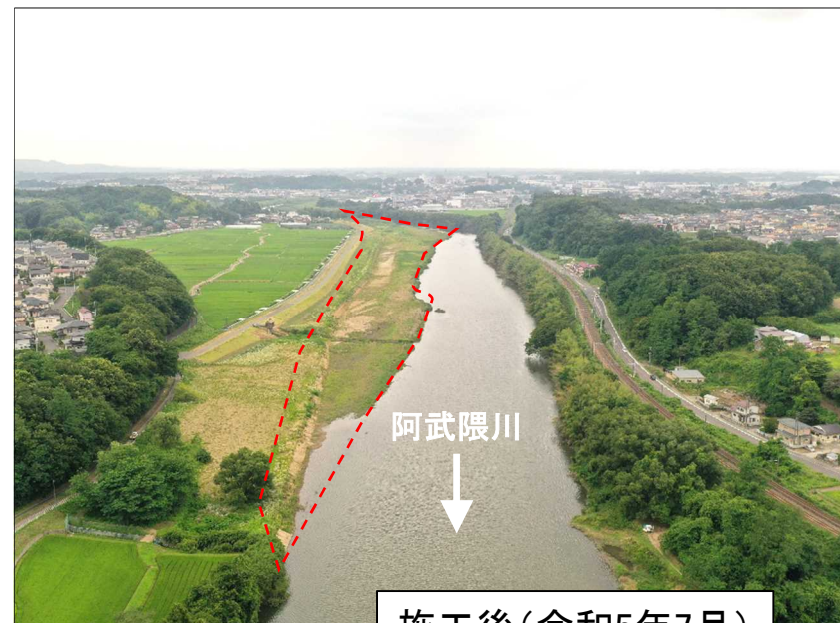
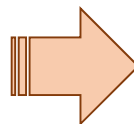
# ① 河道掘削(例:江持地区\_須賀川市)(国事業)

○ 釈迦堂川合流点下流右岸側江持地区において河道掘削を実施。



施工前(令和2年12月)

(工事状況)



施工後(令和5年7月)



(令和3年12月)



(令和4年4月)



(令和4年7月)

河道掘削の施工状況

# 【参考】掘削残土が造り出す産業基盤！（事例：工業の森・新白河）

- 阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに伴い発生する河川掘削土を、白河市の県営工業団地「工業の森・新白河」へ搬出。
- 令和4年2月から本格的に河川掘削土の搬出を開始し、これまでに約28万m<sup>3</sup>を搬入済み。
- 令和5年7月28日 企業の立地が決定！ 地域雇用の拡大が期待される。



掘削土搬入後（令和5年9月）



掘削土搬入前（令和3年11月）



造成イメージ（福島県より）

PRESS RELEASE

令和5年7月28日  
福島県企業立地課

報道関係者各位

**「工業の森・新白河A-1工区」  
工場立地に関する基本協定締結式の開催について**

現在、造成工事を進めている県営工業団地「工業の森・新白河A-1工区（白河市豊地地内）」につきまして、下記のとおり、福島県、地元自治体である白河市、半導体製造装置向けの石英ガラス加工製品等を製造する「株式会社 横浜石英」様、「ヒメジ理化 株式会社」様の4者による工場立地に関する基本協定締結式を行いますので、お知らせいたします。

記

- 「工業の森・新白河A-1工区」工場立地に関する基本協定締結式日時等
  - 日 時  
令和5年8月4日（金）11時30分～12時00分
  - 会 場  
福島県庁本庁舎2階応接室
  - 当日の次第
    - 出席者紹介・協定概要説明
    - 協定書署名（締結）
    - 記念撮影
    - あいさつ
    - 共同記者会見
- 協定締結者
  - 福島県知事 内堀 雅雄
  - 白河市長 鈴木 和夫
  - 株式会社横浜石英 代表取締役社長 南 勝也（みなみ かつや）
  - ヒメジ理化株式会社 代表取締役社長 赤錆 亮（あかさび みつる）
- その他  
別紙のとおり

【本件に関する問合せ先】  
福島県企業立地課 副課長兼主任主査 日比亜州 Ⅱ:024-521-8520（内線2386）  
白河市 Ⅱ:工 課 課長 貞歌 薫 Ⅱ:0248-21-5910

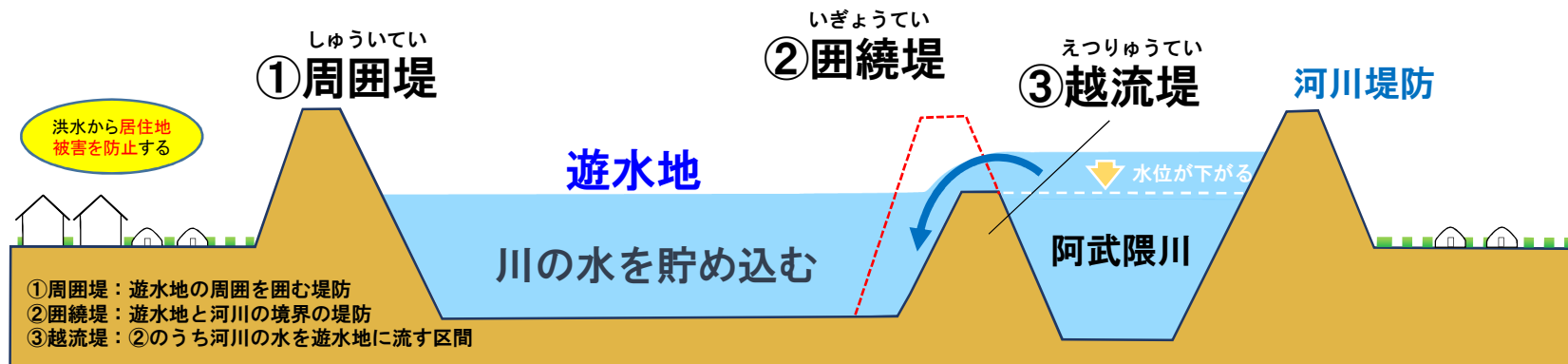
記者発表資料（福島県HPより）





### ③ 遊水地群整備 遊水地の役割(国事業)

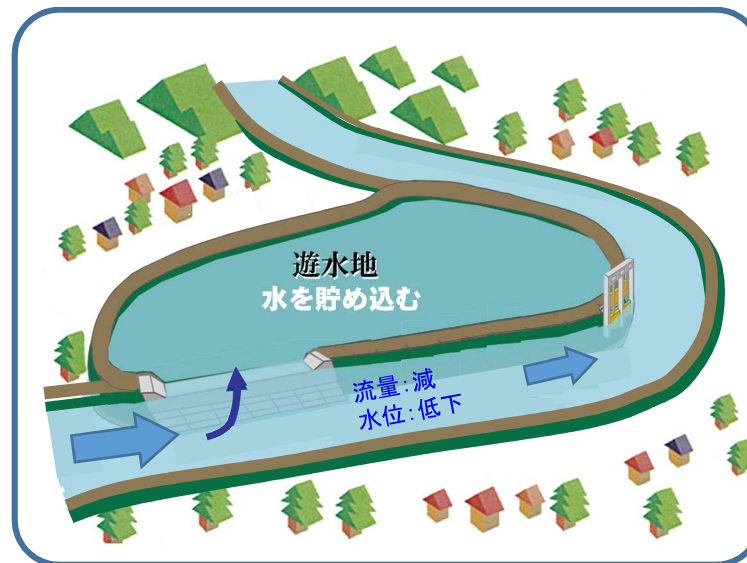
○遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯め込み、地先と下流側の水位を下げ、浸水被害を軽減。



【平常時のイメージ】



【洪水時のイメージ】





### ③ 遊水地群整備 概略工程(概ね10年間の予定)(国事業)

○阿武隈川緊急治水対策プロジェクトに基づき、概ね10年間で治水対策を実施

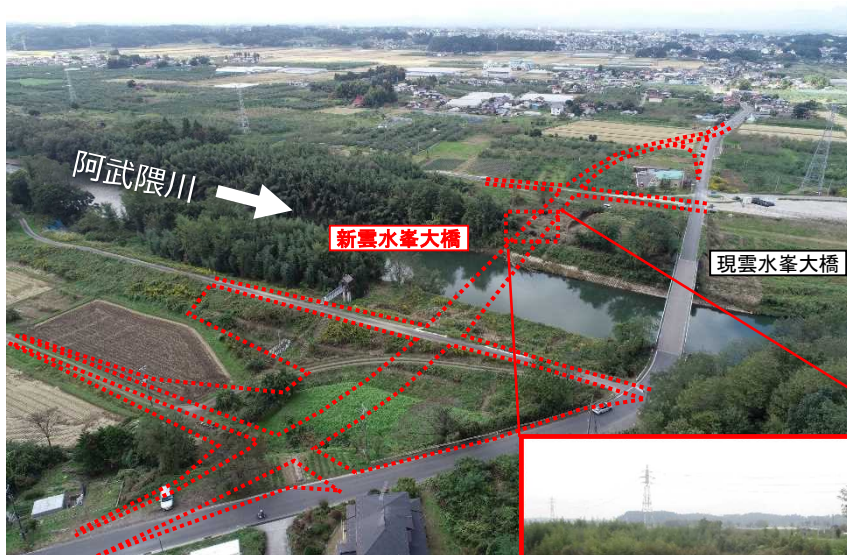
#### 阿武隈川緊急治水対策プロジェクト(上流遊水地群整備) 概略工程

概略工程		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
測量	・遊水地範囲検討	→								
事業計画の検討	・計画規模	→								
調査	・地質調査など		→							
設計	・遊水地関係施設		→							
用地調査	・測量 ・土地価格の算定		→							
用地協議	・用地協議、補償			→						
工事									→ 用地協議が完了し、施工が可能となった箇所から順次着手	

注) 上記プロジェクト工程については、今後の調査状況等により変更する可能性もあります。

## ④ 橋梁架替(雲水峯地区\_須賀川市)(国事業)

○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前 (2020年10月)



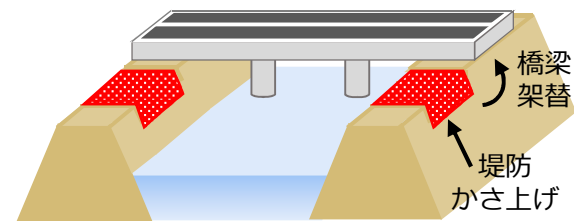
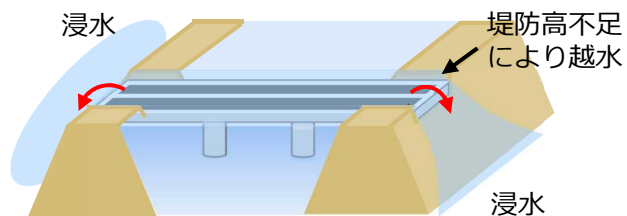
工事前 (2020年10月)



工事中 (2023年7月)

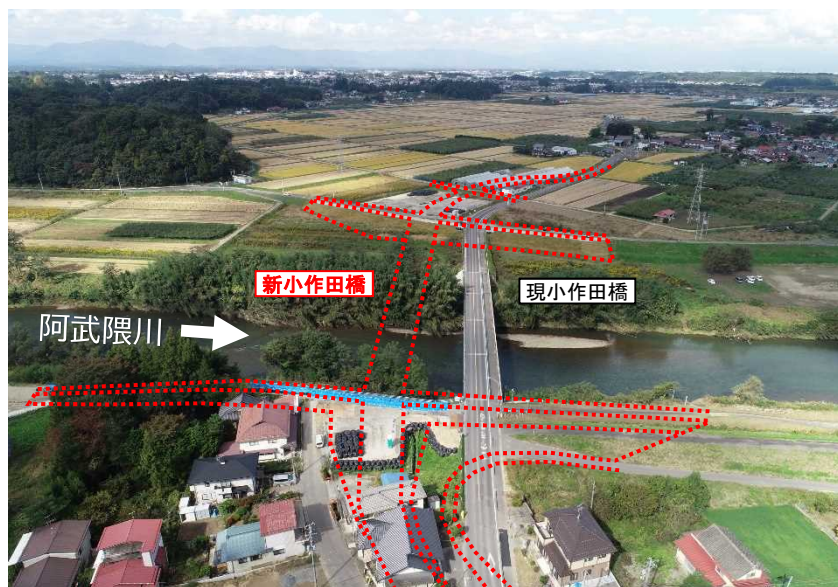


工事後 (2023年7月)

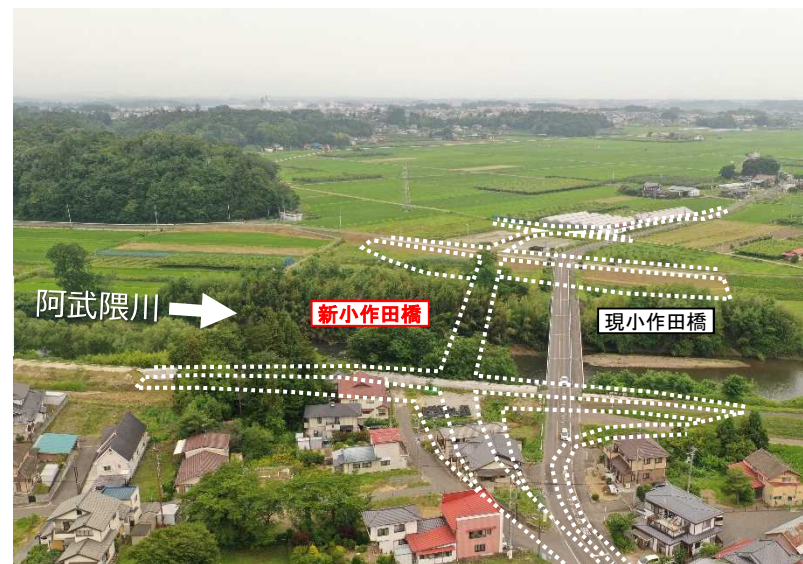


## ④ 橋梁架替(小作田地区\_須賀川市)(国事業)

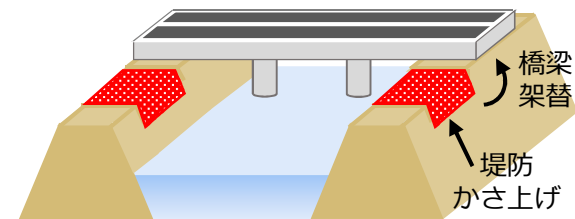
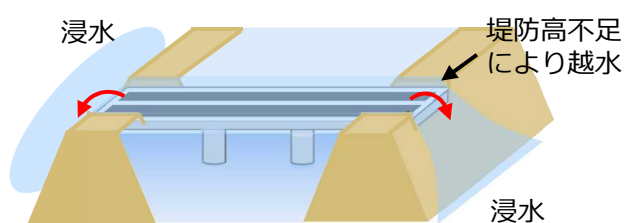
○洪水を氾濫させないために、橋梁を架け替え、堤防をかさ上げする。



工事前 (2020年10月)



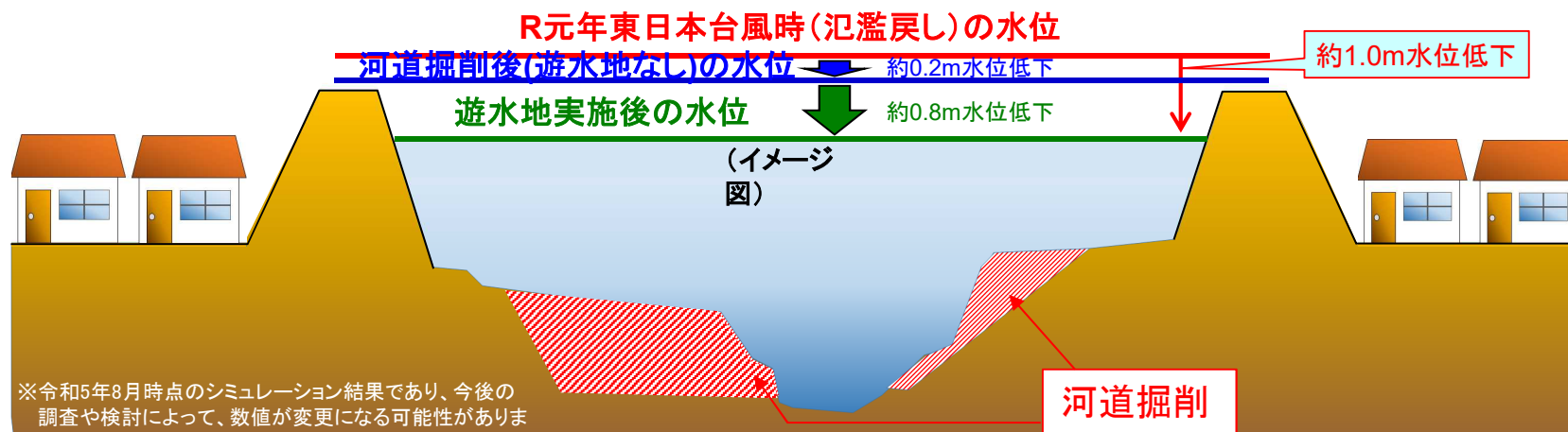
工事中 (2023年7月)



# ⑤河道掘削＋遊水地群整備の効果(阿久津水位観測所)

令和5年8月時点

■「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の治水対策を実施することにより、令和元年東日本台風と同規模の洪水が発生した場合、阿久津水位観測所(郡山市：83.8km地点)付近において、事業実施前と比べて『河道掘削と遊水地群整備により約1.0m水位を低下』させ、堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の低減を図る。



## 4. 阿武隈川上流遊水地群に関する理解を促進する取り組み(R5年度)

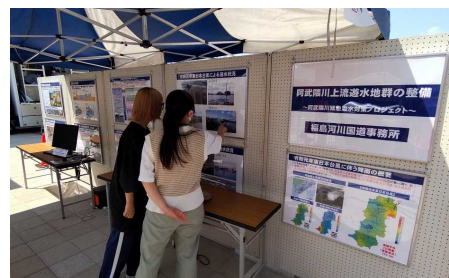
◆ 流域内の住民の方々(3町村含む)を対象に、様々な機会を通して上流遊水地群の概要・役割を紹介

### パネル展示

各種イベントにおいて、遊水地群に関するパネルや模型を展示。

R5年度実績(1月末時点):

福島市、郡山市、須賀川市、伊達市 等  
19回(『巡回パネル展』を除く)



▲ふくしま災害体験フェア(令和5年7月)



▲伊達市総合防災訓練(令和5年10月)

### 出前講座・講演

小学生や地域住民に対して出前講座や講演で遊水地群について説明。

R5年度実績(1月末時点):

福島市、郡山市、須賀川市、伊達市、桑折町 等  
13回、約470人  
※3町村内小学校 5回(約220人)を含む



▲郡山市内小学校(令和5年8月)



▲須賀川市(令和5年12月)

### 『令和元年東日本台風から4年 巡回パネル展』

令和元年東日本台風の被害やこれまでの治水対策等を振り返り、この歴史的な大災害を忘れることなく、近年多発する水害への備えを改めて考えるきっかけとするため、巡回パネル展を実施。

R5年度実績:福島県内 全26会場(10月~11月)

(市町村役場、JR駅、道の駅、ショッピングセンター等)







## 4. 阿武隈川上流遊水地群に関する理解を促進する取り組み(R5年度)

### 小学校への出前講座(鏡石町・矢吹町・玉川村)

○鏡石町、矢吹町、玉川村の小学校4～6年生(約220名)に対し、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト～遊水地の整備について～」と題して出前講座を実施。

○阿武隈川での洪水被害や治水対策、阿武隈川上流遊水地群の役割について説明。

#### 日時・対象

➤日	時：令和5年8月30日(水)	9:20～12:00	➤対	象：鏡石町立第一小学校4年生
➤日	時：令和5年9月4日(月)	10:30～11:15	➤対	象：鏡石町立第二小学校4年生
➤日	時：令和5年9月27日(水)	10:30～11:15	➤対	象：矢吹町立三神小学校4年生
➤日	時：令和5年11月6日(月)	14:00～14:45	➤対	象：玉川村立須釜小学校5～6年生
➤日	時：令和5年11月8日(水)	10:25～12:00	➤対	象：玉川村立玉川第一小学校4年生

#### 実施状況



▶タブレットで「川の防災情報」を確認

▲スライドで説明

模型を使って遊水地の仕組みを解説▶



# 5. (参考)阿武隈川流域における各取組について

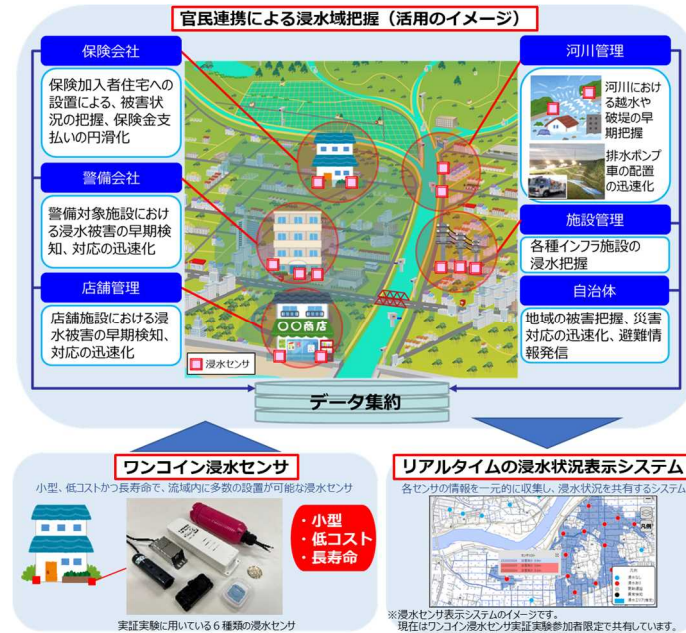
## ○ワンコイン浸水センサ実証実験開始

国土交通省では浸水の危険性がある地域に浸水センサを設置し、リアルタイムに状況を把握する実証実験を官民連携で行っている。

伊達市は、本実証実験に参加、民間企業と連携し、令和5年9月に伊達市内10箇所に浸水センサを設置した。直轄設置分を含めると計14箇所の浸水センサを設置済。



◀▲浸水常襲箇所に浸水センサ設置



## ○流域内連携の促進



【福島駅前 軽トラ市】  
福島駅前通り (令和5年9月)



【荒川フェスティバル】  
福島市 荒川桜づつみ河川公園(令和5年5月)